

障害、高齢者の入居をサポート

家賃保証会社「あんど」設立

地域・社会

不動産会社と福祉事業者が共同で

生活支援を。ハックケージ化

多い入居拒否

一般的に、高齢になったり障害を持っていると、賃貸住宅に入居したくてもオーナーから敬遠されがち。こうした状況を改善しようと、今春、生活サポート付きの家賃保証会社「あんど」（千葉県船橋市）が設立された。家賃滞納や孤独死、近隣トラブルとい

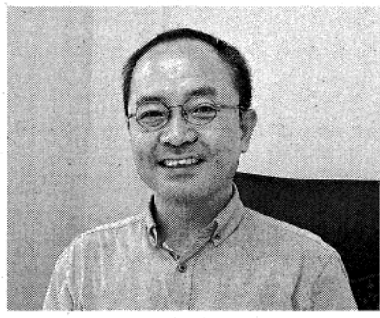
ったオーナーの不安を軽減するため、保険や地域のネットワーク、警備会社などの「7つの手」で支える仕組みを用意した。

「あんど」は、千葉県船橋市に設立された。家賃滞納や孤独死、近隣トラブルとい



「オーナーの不安、軽減できれば」(西澤氏)

新会社を立ち上げたのは、千葉の不動産会社「山盛」（千葉市）取締役の西澤希和子氏と、障害福祉サービス事業を手掛ける「ふくしねっと工房」（船橋市）社長の友野剛行氏。両者が同社の共同代表を務める。



受け入れを拒むケースは今までに多い。という現実には様々な不安があるからだ。

「自立への思いを叶えたい」(友野氏)

「あんど」は、千葉県船橋市に設立された。家賃滞納や孤独死、近隣トラブルとい

「7つの手」をネットワーク

「あんど」は、千葉県船橋市に設立された。家賃滞納や孤独死、近隣トラブルとい

霧に隠れた

住宅すくすく

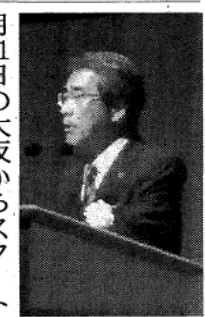
◆上

我が国の不動産市場は東京オリンピックが幕を閉じる20年夏以降、大きな転換期を迎えてきた。『霧りが終われば』

3500万人から45年には約2200万人まで減少する（グラフ参照）。長期ローンにリスク

たとして。繰り上げ返済が完了するのは2060年である。その頃の日本がどのような社会になっているのか想像がつくだろうか。

東急不動産ホールディングスグループの学生情報センター（吉浦勝博社長）は6月14日、東京・水道橋の東京ドームホテルで、同社が運営する学生マンションなどにこの春入居した新入学生らを招いた



少しの配慮でOK

障害の度合いや特徴はそれぞれ。物件の立地や室内の設備（例えば水道の蛇口の形状）など、ほんの少し配慮するだけで一人暮らしができる人は多いという。「あんど」では、本人に代わって物件の選定やオーナーとの交渉もサポートする。それには、福祉と不動産双方の視点・知識が欠かせない。

(井川弘子)

まちづくりでセミナー

政策研究大学院大学は7月15日と23日に「民間まちづくり実践 東京・練馬セミナー」を開催する。「商店街を活性化したい」「空きビルを活用したい」「空き店舗で事業を始めたい」といった店主、ビルオーナー、リノベーション物件での企業者、自治体・行政関係者、大学関係者を対象に、まちづくりの専門家がプロジェクト立ち上げのノウハウを提供し、事業の実現をサポートする。国土交通省都市局「民間まちづくり活動促進事業」の一環となる。

時間は会場は15日が9時～18時半で、午前が練馬区北町2丁目町会会館3階。午後が練馬区役所西庁舎。23日は9時～16時で練馬区職員研修所。講演者は佐々木龍郎氏（佐々木設計事務所）、内藤英治氏（中山高樹氏日本メイソストリートセンター）、安藤勝信氏（アンディット）、中島伸氏（東京都市大学都市生活学部）。参加費は無料。申込先は政策研究大学院大学（担当菊池氏）。問い合わせ先は電話03(6439)6197。